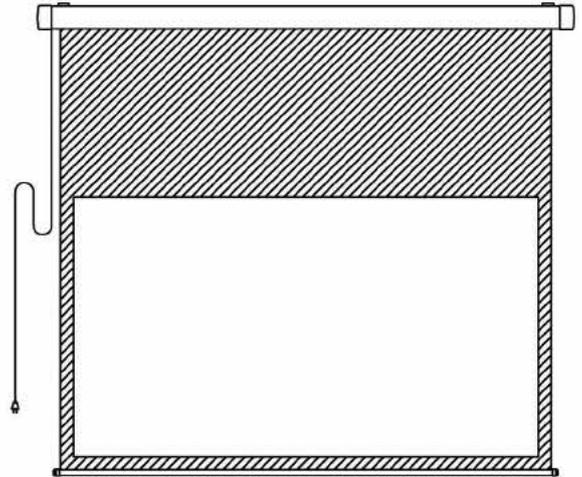


設置説明書

お客様へ

本機の取り付けについて、工具をお持ちでないとき、作業に慣れないとき、下地の有無など不明なとき、コンクリートに設置するときは取付専門業者に設置を依頼してください。

- 取付専門業者につきましては、取扱店および当社にお尋ねください。
- 工事を請け負われた工事業者のかたは設置完了後、この設置説明書と取扱説明書をお客様へお渡しください。



もくじ

安全上のご注意	2~4
付属品の確認	5
本機の構成と各部のなまえ	6
取付工事上の留意点	7
設置要領	8~9
赤外線受光部と電源ケーブルの取り付け	10
スクリーンを昇降させるときの注意	11
リミットスイッチ設定方法	12~15
故障かな?と思ったら	16
仕様	18~19

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

- この設置説明書と取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

安全上のご注意

安全のために、必ずお守りください。

本説明書ではお使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

表示内容を見逃して誤った取り扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示の欄は、傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容を示しています。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容を示しています。

警告



長期使用を考慮して設置場所の強度を確保する

長期使用により設置場所の強度が不足すると本機が落下してけがの原因となります。



荷重に耐えられない場所に取り付けない

取付部の強度が弱いと本機が落下してけがの原因となります。



電源ケーブルや電源プラグを破損するようなことはしない

(傷つけたり、加工したり、高温部に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない)

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。



発煙・発熱・異臭・異音などの異常が発生した場合は、電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

 電源プラグを抜く

警告



電源プラグ
を抜く

異物(金属片・水・液体)が本機の内部に入った場合は、使用を中止し、電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。



電源ケーブルを引っばらず、電源プラグを持って抜く

電源ケーブルを傷め、火災・感電の原因になります。



分解禁止

分解や修理・改造をしない

火災・感電の原因になります。

修理は、取扱店または当社までご相談ください。



接触禁止

雷が鳴ったら電源プラグに触れない

感電の原因になります。



スクリーンにぶら下がったり、物を掛けたりしない

本体またはスクリーンが落下し、けがの原因になります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。

注意



STOP ラベル位置以上にスクリーンを引き出さない

STOP ラベルを超えてスクリーンを引き出すと、スクリーン生地が脱落する原因になります。



製品の動く範囲内に動きを妨げるものや、壊れやすいものを置かない
製品や置いたものが破損する原因になります。



スクリーンに鋭利な刃物、尖った金属等を近づけない
破損の原因になります。

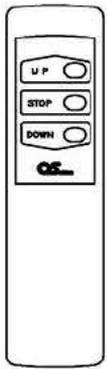


スクリーンを無理に引き出さない
本体または機構が破損したり、スクリーン生地が脱落する原因になります。

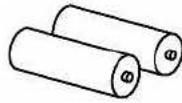
取り扱い上の不備、または天災等による事故・損傷について当社は責任を負いません。

付属品の確認

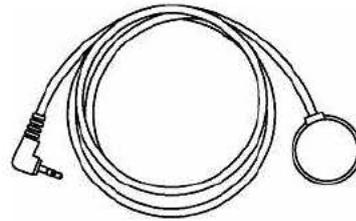
■ 設置の前に必ず確認してください。設置場所・設置方法によっては部品や工具を別途ご用意ください。



リモコン送信機 ×1



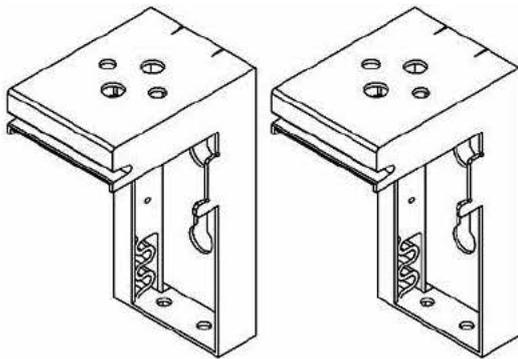
乾電池(単4形) ×2



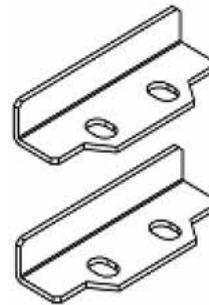
赤外線受光部 ×1



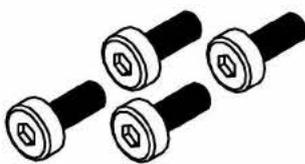
粘着パッド(予備) ×1



取付金具 ×2



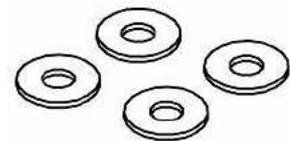
ストッパー ×2



ボルト (M4×10) ×4



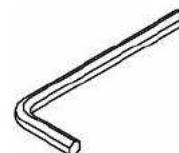
ねじ(4×40) ×4



ワッシャー(M4) ×4



六角レンチ(呼び4 リミット調整用) ×1

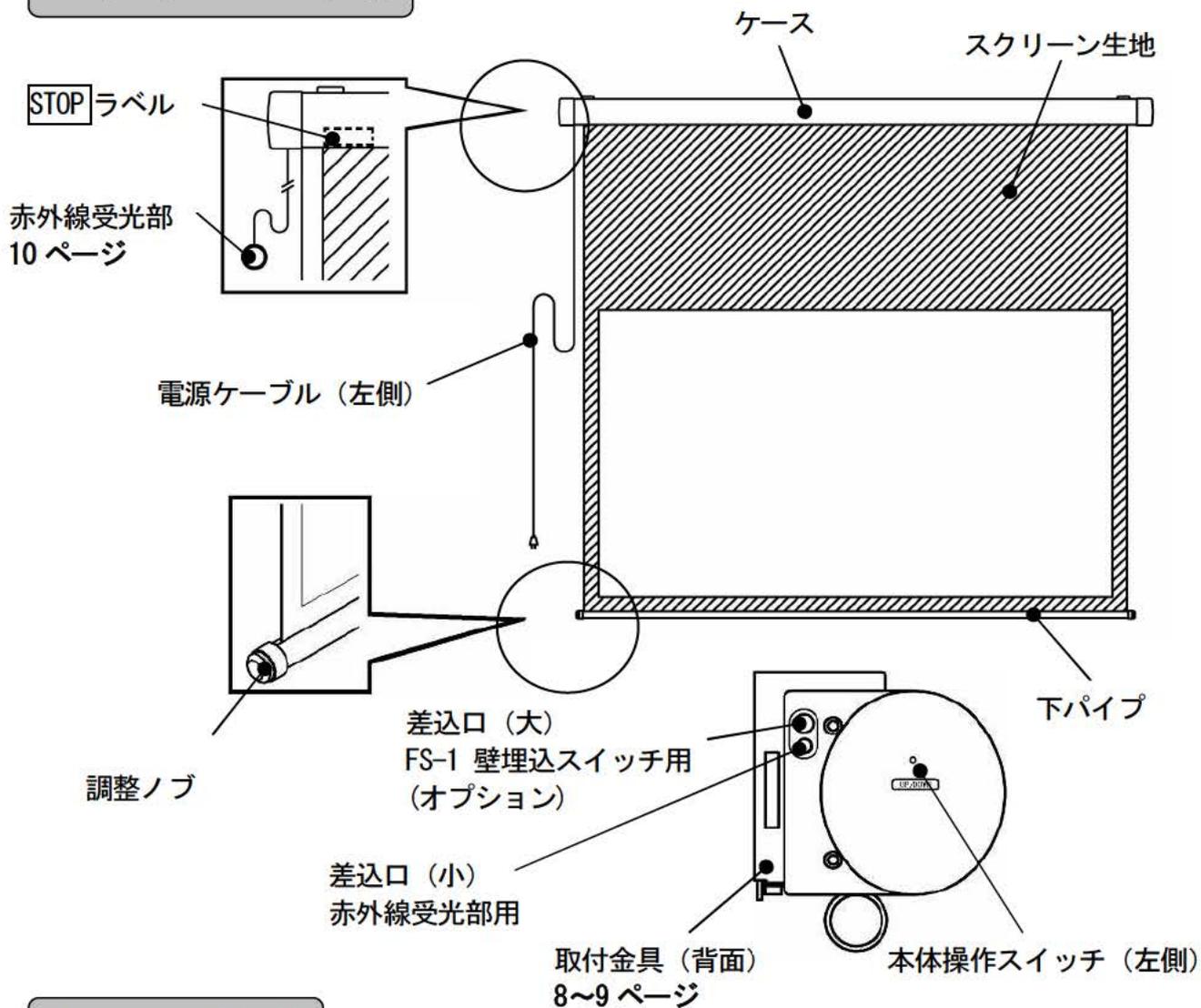


六角レンチ(呼び3 取付金具用) ×1

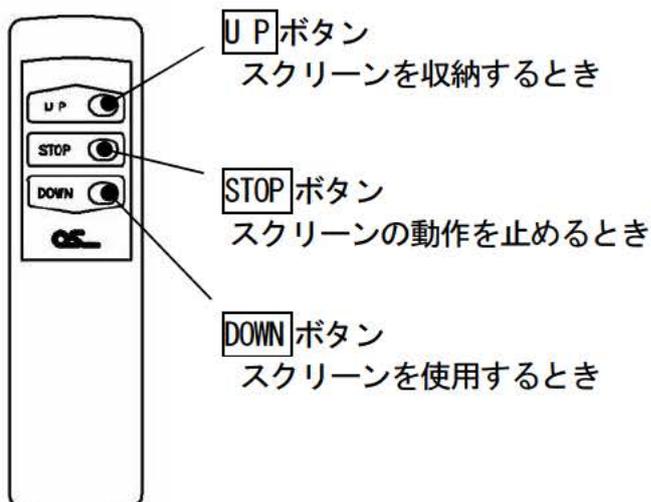
本機の構成と各部のなまえ

下図の部品で構成されていますので、取付工事前に確認してください。

スクリーン本体



リモコン送信機



STOPラベルについてのお願い

スクリーン生地が脱落、または逆巻きをおこす原因になりますので、STOPラベル以上はスクリーン生地を引き出さないでください。

取付工事上の留意点

電動スクリーンの性能保障やトラブル防止のため、次の場所には取り付けないでください。

振動や衝撃の加わるおそれのある所 磁気、熱、水蒸気、油煙などの発生源の近く
暖房機器の風が当たる所

取付場所の構造や材質に合った方法で取付工事を行ってください。

取付工事中に製品や床に傷が付かないようにやわらかい毛布や布を使い作業してください。

ねじ止めする時は、締め付け不十分や締め付けすぎがないようにしてください。

取付工事の際は、周囲の安全確保と十分な注意をしてください。



警告

本機の設置面は、仕様に記載しているスクリーン質量を長期間支える強度が必要です。また、石こうやパーティクルボード面には補強が必要です。設置面の強度が不足していると本機が脱落する原因になります。

設置要領

〔はじめに〕 部品には取付箇所、取付方向が決まっていますので、図および説明文をよく確認の上、設置してください。



警告

本機の設置は、天井、壁の下地の厚み 20mm 以上の木材に付属のねじで取り付けます。下地の厚み不足、ねじの締め付けが不十分だと落下のおそれがあります。

1. 取り付ける場所の確認

本製品は天井のほか壁面への取り付けも可能です。天井取り付けの野縁の位置につきましては、野縁探知機等を利用して下地位置の確認をしてください。壁面への取り付けは取付位置に頑丈な間柱があることを確認してください。

※ 下地を見つけることができないときは、取付専門業者に施工依頼をしてください。

2. 取付金具の取り付け

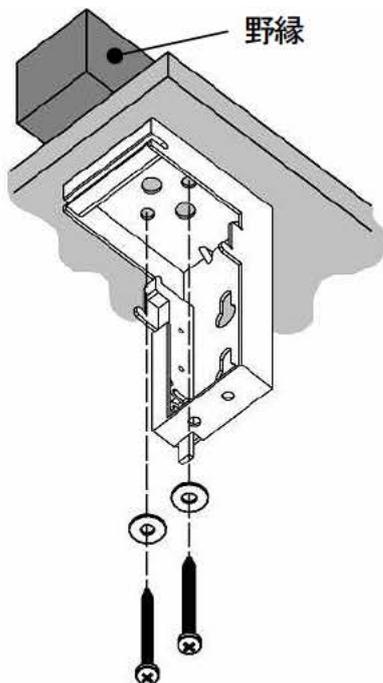
別途ご用意していただくもの
プラスドライバー

天井または壁面に付属のねじで取付金具を取り付けます。

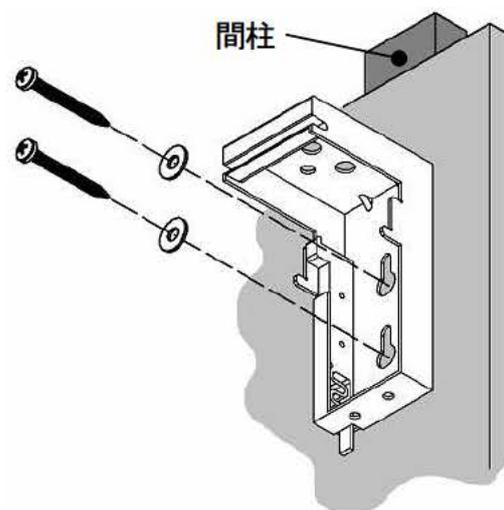
※ 2つの取付金具は平行になるように取り付けてください。

※ 取付金具の寸法、取付間隔は「仕様」(18~19 ページ)のG寸法を参照してください。

■ 天井の場合

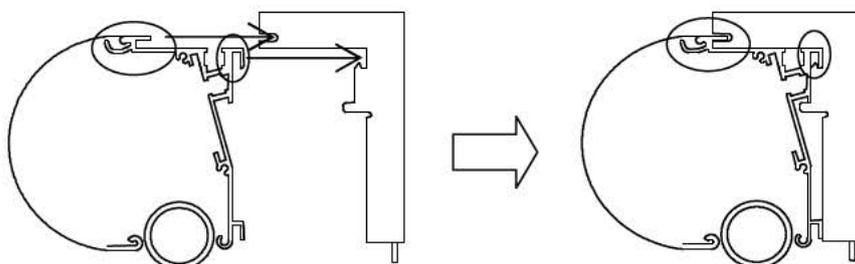
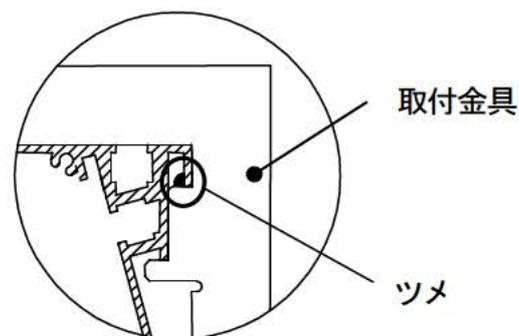


■ 壁面の場合

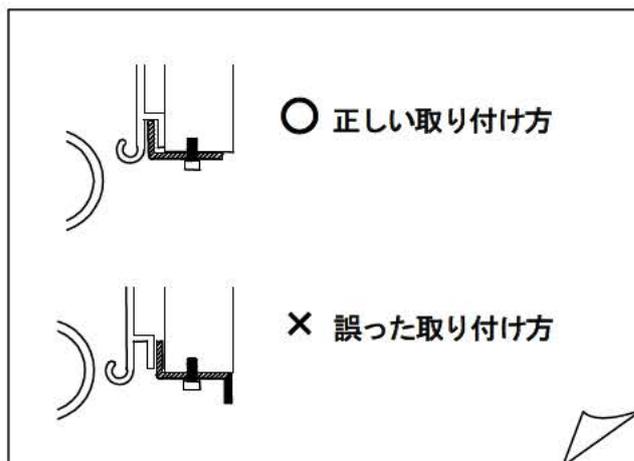
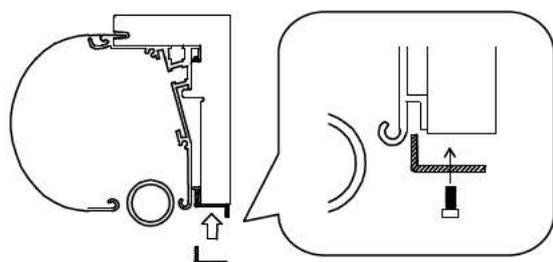
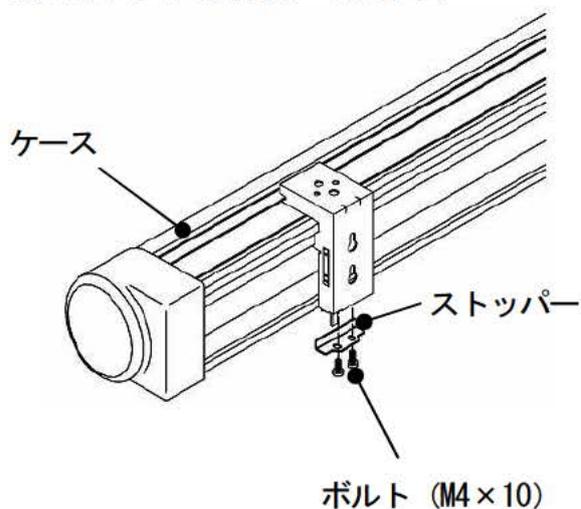


3. 本体の取り付け

- 1) 取付金具にケース上部の溝をあわせ、ケースを水平に押ししてください。このとき、「カチッ」と音がしてツメがかかったことを確認してください。



- 2) ケース背面の溝にストッパーを差し込み、ボルトで取付金具に固定してください。（付属の六角レンチをお使いください）



- 3) 設置後、ケースが確実に取り付けられているかを確認してください。



取り付けは確実に行ってください。

本機の落下により、重大事故および製品や財産の破損につながるおそれがあります。

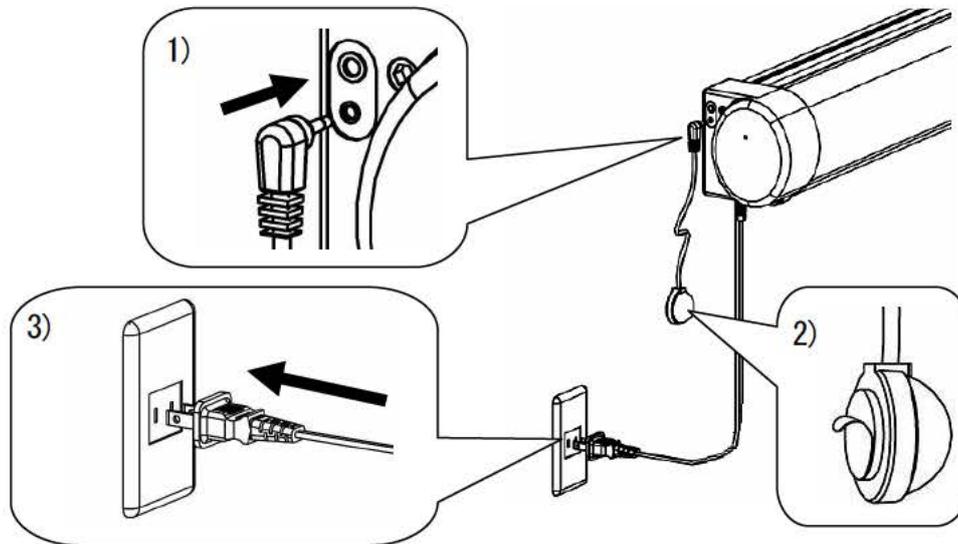
赤外線受光部と電源ケーブルの取り付け

お客様へ

壁埋込スイッチを接続する場合は、壁埋込スイッチ FS-1 の『取扱説明書』をご覧ください。

壁埋込スイッチは差込口(大)に接続します。

- 1) 赤外線受光部(リード線の長さは300mmです)のプラグを、本体左側にある差し込み口(小)に接続します。
- 2) 貼付場所のゴミや汚れ・水・油・湿気等を拭き取り、赤外線受光部裏面の粘着パッドの剥離紙をはがして、リモコン送信機の信号が直接当たる場所(リード線範囲内)に確実に貼り付けます。ただし、直射日光の当たらない場所に設置してください。
- 3) 電源ケーブルのプラグをコンセントに差し込んでください。



知っておいていただきたいこと

- 直射日光等により受信感度が悪い場合には、赤外線受光部の取付位置を変更してください。
- 場所によっては貼り付けができない場合もあります。
- パッドの粘着力が無くなった場合は、付属の粘着パッドをお使いください。



警告

赤外線受光部は必ず根元まで差し込んでください。差し込みが不完全ですと、破損の原因になります。



警告

電源プラグは必ず根元まで差し込んでください。差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

スクリーンを昇降させるときの注意

スクリーンを昇降させるときは次の点にご注意ください。

- スクリーンの昇降を続けておこなうと、モーターの加熱防止装置が働いて停止します。
この場合は、冷却のためしばらく（15～20分）放置してから操作してください。（故障ではありません）

自動停止位置【映写位置・収納位置】を変更したい場合

設定変更のまえに必ずお読みください

スクリーンの自動停止位置は工場出荷時に標準の位置に設定済みですが、停止位置の変更が必要な場合は以下の点にご注意の上、設定方法にそって正しく設定をしてください。

UPの位置【収納位置】は工場出荷時に最大上限位置として設定済みです。**UP**の位置より下方向にて設定してください。



注意

最大上限位置より誤って上方向に設定した場合、スクリーンがケースに
くい込んだり、スクリーン生地が引っぱられて故障やシワの原因となり
ます。

DOWNの位置【映写位置】は工場出荷時に最大下限位置として設定済みなので **DOWN**の位置より上方向にて設定してください。

スクリーン前面左上に **STOP ラベル** を貼り付けています。



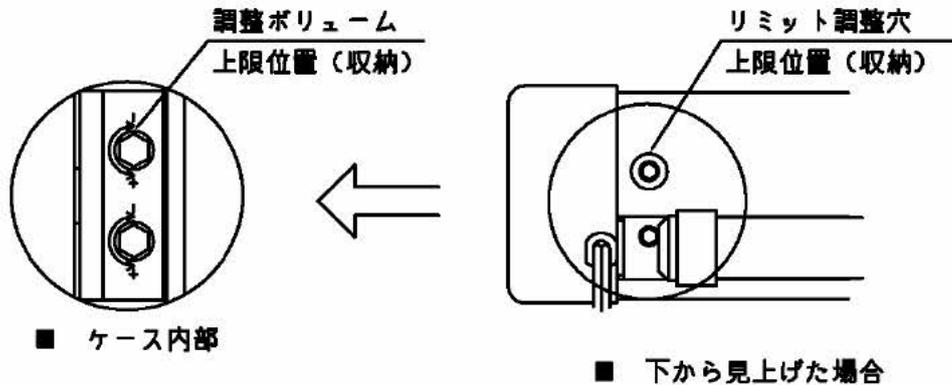
注意

最大下限位置より誤って下方向に設定した場合、スクリーン生地が脱落
したり、スクリーン生地が逆巻きしてシワの原因となります。

リミットスイッチ設定方法

■ 自動収納位置【UP】を変更する場合 初期収納位置より下方向に設定します

ケース左側底面にあるリミット調整穴の白いキャップを取り外します。
調整箇所を確認してください。
スクリーンは必ず【UP】させた状態で調整してください。

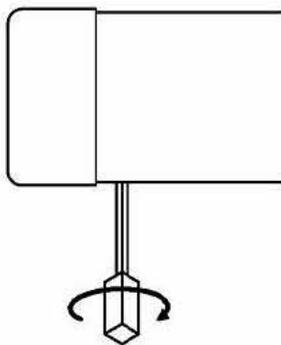


■ ケース内部

■ 下から見上げた場合

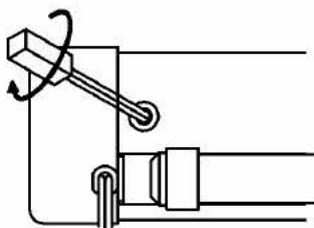
リミット調整穴から付属の六角レンチを差し込み、調整ボリューム（上限位置）を **時計回り** にまわします。下げすぎないように少しずつ調整してください。

■ まわす方向



正面から見た場合

下から見上げた場合



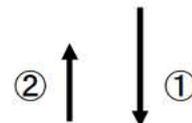
初期収納位置⇒ **UP**

1回転で約30mm 収納位置が下がる設定になります。

【参考】 1/2回転で約15mm

※ 調整後の位置を確認するまで、まわした回数は必ず覚えておいてください。

希望収納位置⇒ **UP**



- ① 調整ボリュームをまわした後に、リモコン送信機の **DOWN** ボタンを押してスクリーンを20～30センチ程引き出したところで **STOP** ボタンを押します。
- ② **UP** ボタンを押します。希望の位置に停止するかを確認してください。

知っておいていただきたいこと

スクリーンの昇降を続けておこなうと、モーターの加熱防止装置が働いて停止します。
この場合は、冷却のためしばらく放置してから（15～20分）操作してください。

故障ではありません

収納位置が下がりすぎた場合

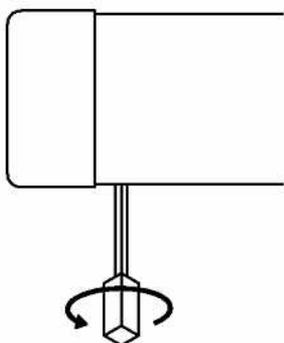
収納位置を下げすぎた場合は、下記の手順にそって正しく調整をしてください。
スクリーンが収納されている状態で、前頁と同じ調整箇所に付属の六角レンチを差し込みます。
調整ボリューム（上限位置）を **反時計回り** にまわしてください。
上げすぎないように少しずつ調整してください。



注意

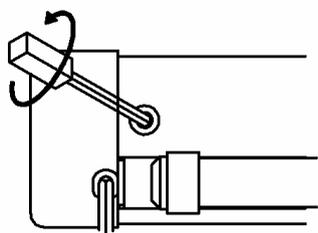
調整ボリューム（上限位置）を反時計回りにまわしすぎた場合、スクリーンがケースにくい込んだり、スクリーン生地が引っぱられて故障やシワの原因となります。

まわす方向



正面から見た場合

下から見上げた場合



収納位置

UP



1回転で約30mm 収納位置が上がる設定になります。

【参考】 1/2回転で約15mm

調整後の位置を確認するまで、まわした回数は必ず覚えておいてください。

希望収納位置

UP



調整ボリュームをまわした後に、リモコン送信機の **DOWN** ボタンを押してスクリーンを20～30センチ程引き出したところで **STOP** ボタンを押します。

UP ボタンを押します。

希望の収納位置に停止するか確認をしてください。

調整ボリューム（上限位置）を**反時計回り**にまわしすぎた場合は、収納が終わっても下パイプがケースにあたり、モーターが止まりません。この場合は速やかに **STOP** ボタンを押して動作を止めてください。

動作を止めた後に調整ボリューム（上限位置）を **時計回り** にまわしてください。

（前頁をご覧ください。）

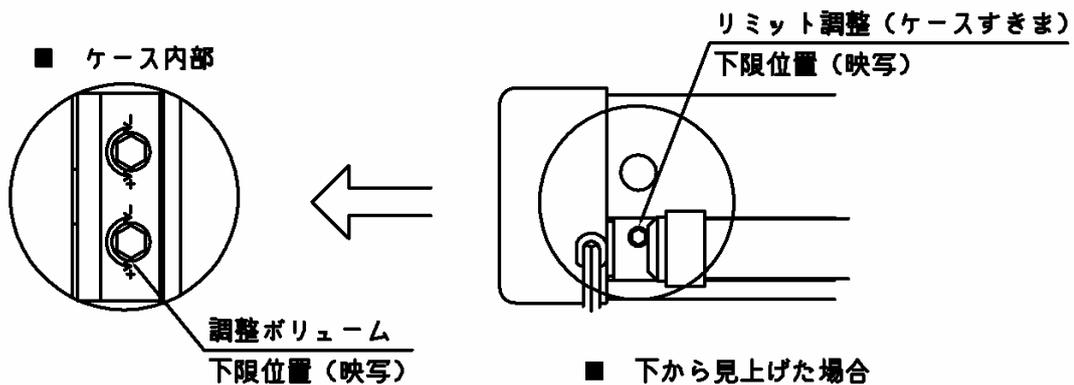
DOWN ボタン・**STOP** ボタン・**UP** ボタンを押して希望の収納位置に停止するか確認をしてください。
確認後はリミット調整穴に必ずキャップを取り付けてください。

自動映写位置【DOWN】を変更する場合

初期映写位置より上方向に設定します

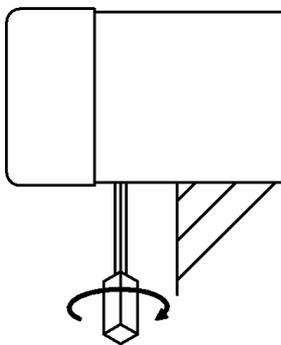
ケース左側底面のケースすきまより調整箇所を確認をしてください。

スクリーンは必ず【DOWN】【映写位置まで引き出した】状態で調整してください。



ケースすきまから付属の六角レンチを差し込み、調整ボリューム（下限位置）を【時計回り】にまわします。上げすぎないように少しずつ調整をしてください。

まわす方向



正面から見た場合

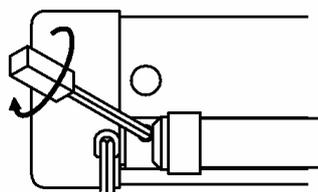
下から見上げた場合

初期映写位置
【DOWN】

1回転で約 30mm 収納位置が上がる設定になります。

【参考】 1/2 回転で約 15mm

調整後の位置を確認するまで、まわした回数は必ず覚えておいてください。



希望映写位置
【DOWN】

調整ボリュームをまわした後に、リモコン送信機の【UP】ボタンを押してスクリーンを 20～30センチ程巻き取らせたところで【STOP】ボタンを押します。

【DOWN】ボタンを押します。希望の映写位置に停止するか確認をしてください。

知っておいていただきたいこと

スクリーンの昇降を続けておこなうと、モーターの加熱防止装置が働いて停止します。
この場合は、冷却のためしばらく（15～20分）放置してから操作してください。

故障ではありません

映写位置が上がりすぎた場合

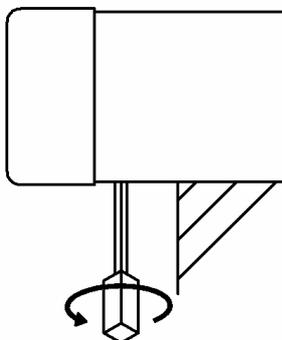
映写位置を上げすぎた場合は、下記の手順にそって正しく調整をしてください。
スクリーンが引き出されている状態で、前頁と同じ調整箇所へ付属の六角レンチを差し込みます。調整ボリューム（下限位置）を **反時計回り** にまわしてください。
下げすぎないように少しずつ調整してください。



注意

調整ボリューム（下限位置）を反時計回りにまわしすぎた場合、スクリーン生地が脱落したり、逆巻きしてシワの原因になります。
STOP ラベル以上はスクリーン生地を引き出さないでください。

まわす方向



映写位置 **DOWN**



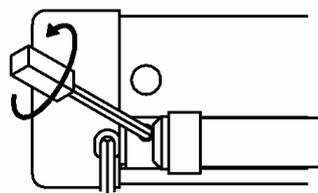
1回転で約30mm 収納位置が下がる設定になります。

【参考】 1/2回転で約15mm

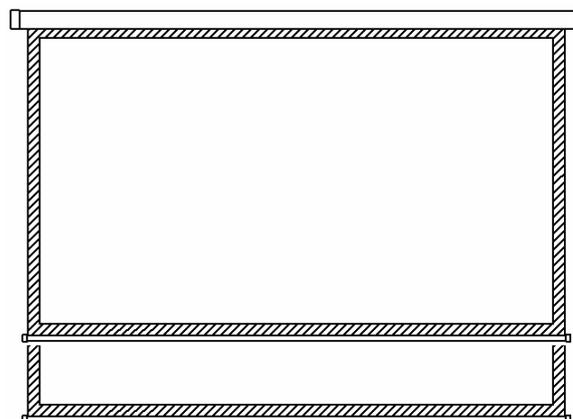
正面から見た場合

調整後の位置を確認するまで、まわした回数は必ず覚えておいてください。

下から見上げた場合



希望映写位置 **DOWN**



調整ボリュームをまわした後に、リモコン送信機の **UP** ボタンを押してスクリーンを20～30センチ程巻き取らせたところで **STOP** ボタンを押します。

DOWN ボタンを押します。希望の映写位置に停止するか確認をしてください。

故障かな？とおもったら

異常が生じたときは修理を依頼する前に次の点検をしてください。点検前に必ず電源プラグを抜いてください。下記の項目にしたがって点検されてもなお異常がある場合は、取扱店またはコンタクトセンターまでお問い合わせください。

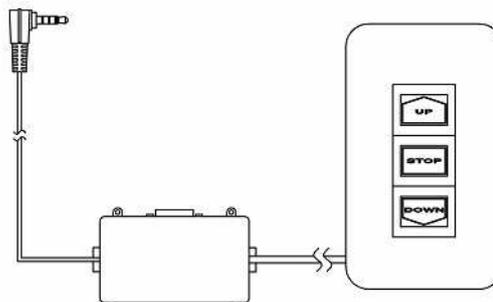
症状	チェック	処置
スクリーン映写面が斜めになる	スクリーンは水平に取り付けられていますか？	もう一度取付穴位置を確認してください。
スクリーンが動作しない	電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか？	AC100V のコンセントに電源プラグを差し込んでください。
	リモコン送信機は赤外線受光部に向けて操作していますか？	リモコン送信機を本体の赤外線受光部に向けて操作してください。
	リモコン送信機と赤外線受光部の間に障害物はありませんか？	障害物を取り除く、または赤外線受光部の取り付け位置を変えてください。
	日光やインバーターの照明の光を赤外線受光部が受けていませんか？	赤外線受光部の位置を変えてください。
	リモコン送信機の乾電池が消耗していませんか？	乾電池を 2 本とも新しいものに交換してください。(単4形)
	モーターの加熱防止装置が働いて停止していませんか？	モーターの冷却のためしばらく放置してから操作してください。(15~20分)
スクリーンの収納が終わってもモーターが止まらない	調整ボリューム(上限)を反時計回りにまわしすぎていませんか？	速やかに STOP ボタンを押して動作を停止させてください。 12 ページの内容をご確認の上、もう一度調整をしてください。

オプションのご紹介

壁埋込スイッチ FS-1

リモコン送信機と併用可能です。併用の場合、万ーリモコン送信機が電池切れになってもスクリーンの操作ができて便利です。

接続は専用ミニプラグをスクリーン本体のジャックへ接続するだけです。



スクリーン取付ポールセット

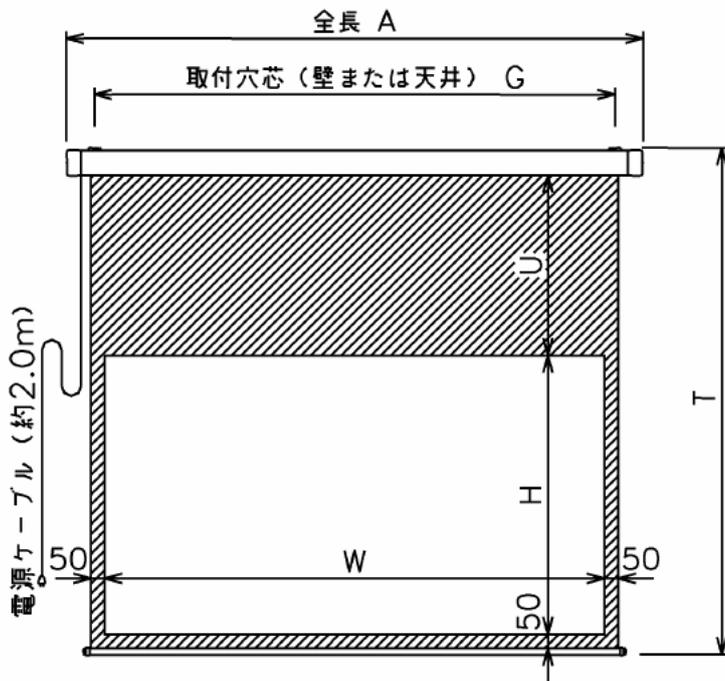
P21-A/P22-A

取付工事なしでスクリーンを取り付けることができます。壁や天井を傷つけることがないので、マンションなどでもお使いいただけます。

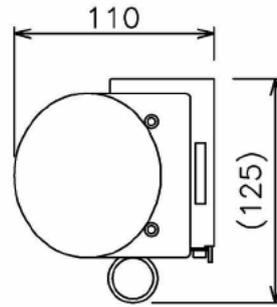


仕様

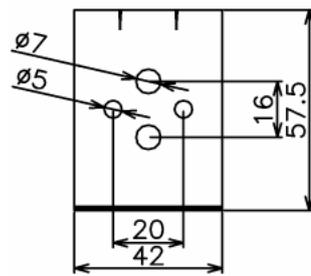
E1-□□□H-□□□/ E1-□□□V-□□□



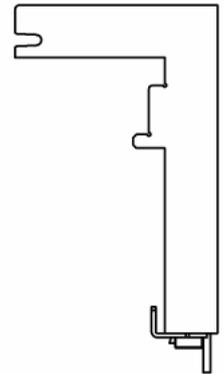
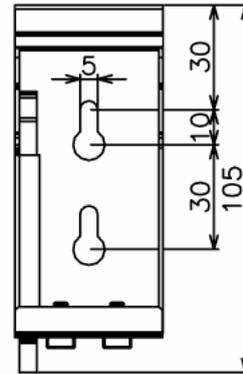
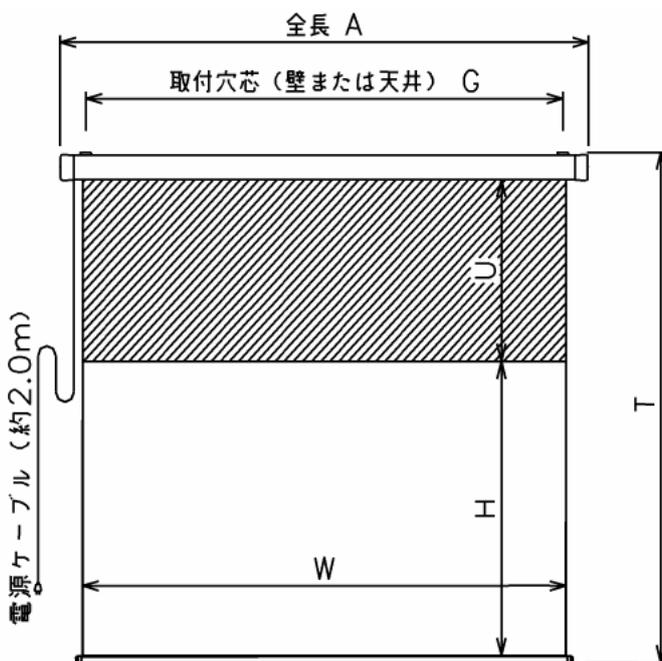
■側面図(収納時)



■取付金具図



E1-□□□HF-□□□



型式	サイズ W×H(mm)	上黒 U(mm)	全長 A(mm)	取付穴芯 G(mm)	全高 T(mm)	質量 (kg)	消費電力 (W)
E1-080H-064	1771×996	640	2046	1350 以上	1812	9.4	85
E1-090H-051	1992×1121	510	2267				
E1-100H-039	2214×1245	390	2489	1800 以上		11.2	
E1-110H-027	2435×1370	270	2710			12.1	
E1-120H-014	2657×1494	140	2932	2250 以上		13.0	
E1-080H-110	1771×996	1100	2046	1350 以上	2272	10.0	85
E1-090H-097	1992×1121	970	2267			10.9	
E1-100H-085	2214×1245	850	2489	1800 以上		11.8	
E1-110H-073	2435×1370	730	2710			12.7	
E1-120H-060	2657×1494	600	2932	2250 以上		13.6	
E1-080V-088	1626×1219	880	1901	1000 以上	2272	9.5	85
E1-090V-072	1829×1372	720	2104			10.3	
E1-100V-057	2032×1524	570	2307	1350 以上		11.1	
E1-110V-042	2235×1676	420	2510			12.0	
E1-120V-027	2438×1829	270	2713	1700 以上		12.8	

PP201 生地搭載スクリーン

型式	サイズ W×H(mm)	上黒 U(mm)	全長 A(mm)	取付穴芯 G(mm)	全高 T(mm)	質量 (kg)	消費電力 (W)
E1-080H-007	1771×996	70	2046	1350 以上	1238	8.3	85
E1-090H-007	1992×1121		2267		1363	9.1	
E1-100H-007	2214×1245		2489	1800 以上	1487	9.8	
E1-080V-007	1626×1219		1901	1000 以上	1461	9.5	
E1-090V-007	1829×1372		2104		1614	10.3	
E1-100V-004	2032×1524	40	2307	1350 以上	1736	11.1	

VOC 対策スクリーン

型式	サイズ W×H(mm)	上黒 U(mm)	全長 A(mm)	取付穴芯 G(mm)	全高 T(mm)	質量 (kg)	消費電力 (W)
E1-080HF-064	1871×1046	640	2046	1350 以上	1812	9.4	85
E1-090HF-051	2092×1171	510	2267			10.3	
E1-100HF-039	2314×1295	390	2489	1800 以上		11.2	
E1-110HF-027	2535×1420	270	2710			12.1	
E1-120HF-014	2757×1544	140	2932	2250 以上		13.0	

電源電圧 AC100V 50/60Hz

仕様およびデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。

株式会社オーエス
株式会社オーエスプラス*e*

コンタクトセンター

〒120-0005 東京都足立区綾瀬 3-25-18

TEL:0120-380-495 FAX:0120-380-496

(受付時間: 平日 9:00 ~ 18:00 土日祝日を除く)

E-mail: info@os-worldwide.com

フリーダイヤルに接続できないお客様は、ご面倒ですが下記電話番号までおかけください。

TEL:03-3629-5211 FAX:03-3629-5214